

アジアで最大規模の空港内水素ステーションがオープン

このたび、国内空港では初となる商用水素ステーション「イワタニ水素ステーション関西国際空港」が、関西国際空港第2ターミナルビル地区の動脈となる幹線道路沿いにオープンしました。本水素ステーションは、走行中のCO₂排出量がゼロとなる燃料電池自動車（FCV：Fuel Cell Vehicle）へ水素充填を行う商用水素ステーションで、東京オリンピックまでには導入が予定される燃料電池バスへの充填が可能な施設規模を備えております。

この水素ステーションは、弊社が世界最高水準の環境性と安全性を備えた「環境先進空港」をめざして取り組むスマート愛ランド構想の柱の一つとなる「KIX 水素グリッドプロジェクト」の一環で進めてきたもので、国際貨物地区で取り組む燃料電池フォークリフト実証事業に続くプロジェクトとなります。

今後は、同様の水素ステーションを大阪国際空港に展開し、関西国際空港と大阪国際空港における循環バスや両空港間を結ぶリムジンバスを燃料電池バスで運行するなど、究極のクリーンエネルギーである水素エネルギーの実用化、水素社会の実現に向けて、水素エネルギーの普及啓発を進めるとともに、「環境先進空港」の実現をめざして参ります。

○「イワタニ水素ステーション関西国際空港」の概要

名称：イワタニ水素ステーション 関西国際空港

事業主体：岩谷産業株式会社

所在地：大阪府泉南郡田尻町泉州空港中 11-1

敷地面積：約 2,500 m²

水素供給：液化水素オフサイト供給

供給能力：燃料電池自動車：340N m³/h（1時間当たりFCV6台の満充填が可能）

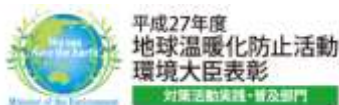
充填圧力：70MPa（メガパスカル）（約700気圧）

設備構成：液化水素貯槽、ドイツ・Linde社製水素圧縮機、蓄圧設備、ディスペンサーなど

○水素ステーションの外観



※イメージ画像です。



※関西国際空港での環境の取組み「スマート愛ランド推進計画」が平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受表彰しました。

